

独立行政法人 国際協力機構 筑波センター(JICA 筑波) 主催

# 大学生・大学院生向け国際協力理解講座 2021年度 募集要項



- No.1 国際協力実務講座： 8月23日(月)～8月27日(金) 5日間  
No.2 農業コース(各コース)： 7月下旬～8月下旬のうち 5日間 (見込み)

従来、開講してきた農業コースについては、新型コロナウイルス感染拡大等による、研修員の渡航確保が難しく、現時点では、コースの実施(対面式)が確定しておりません。農業コース各講座の実施・確定した場合、追加募集として、改めてお知らせさせていただくこととなりますので、右、ご了承ください。

## 1. はじめに

独立行政法人 国際協力機構(JICA)は、開発途上地域等の経済及び社会の開発若しくは復興又は経済の安定に寄与することを通じて、国際協力の促進並びに我が国及び国際経済社会の健全な発展に資することを目的とする独立行政法人です。

政府開発援助(ODA)の実施機関として、開発途上国に対する技術協力、資金協力など、様々な協力事業を実施しています。JICAは、これらの事業展開を通じて蓄積した情報や人材を活用し、開発途上国や国際協力に対する理解の促進、地域の活性化や国際化の推進、さらには将来的な国際協力の担い手の育成を図るため、開発教育支援事業を展開しています。

## 2. 本講座の目的

講座受講を通じて、開発途上国の現状と課題や国際協力に関する理解を深め、その必要性について考え、国際協力への参加を動機づける。

- (1) 参加学生は、それぞれが選択したプログラム分野について、途上国にどのようなニーズ、課題があり、開発援助がどう実施されているかを理解し、自分の言葉で説明できるようにする。
- (2) 参加学生は、研修員受入事業というJICA事業の現場の体験、途上国からの技術研修員と交流を通じ、国際協力に係る業務知識・技術を得る。
- (3) 参加学生は、それぞれが選択したプログラム内容で学んだことをもとに、国際協力につながる行動を促進する。

※なお、本講座は体験就業の要素は含まれず、インターンシッププログラムとは異なります。

## 3. 対象者

JICA、NGO、民間企業（開発コンサルタント、他）、JICA海外協力隊等により実施されている国際協力に、高い関心を持つ大学生および大学院生。

## 4. プログラム実施場所

独立行政法人 国際協力機構 筑波センター(JICA筑波)  
<https://www.jica.go.jp/tsukuba/office/access.html>

## 5. 応募資格要件

- 途上国の開発援助に将来的に従事したいと考えていること
- 高い目的意識を持って、プログラムに積極的に参加する意思を有すること
- 英語で実施されるプログラム（JICA研修員とともに技術研修を通じた学び）に参加する場合は、プログラム毎で定める英語力を有すること\*
- 大学の担当教員の推薦が得られること（本講座を大学の単位として認定する場合のみ）

なお、各プログラムの応募要件については、別紙①プログラム概要票をご参照ください。

\*各プログラム概要票に英語力のスコアを記載（選考のための目安として、クリアしていることが望ましい）

## 6. 提供プログラム（別紙 i：プログラム概要票 参照）

- 国際協力実務講座 1コース：プログラムNo.1（原則、オンライン方式による開催）  
JICA職員をはじめ、派遣専門家及び開発コンサルタント等、国際協力の現場で働く方を講師とし、講義やワークショップを通じて、国際協力についての知識を深めるプログラム。  
※オンラインでは、ZOOMアプリを使用いたします。
- 農業各4コース：プログラムNo.2～No.5 応募開始時点、実施未確定のため未掲載  
既存の農業・農村開発分野の課題別研修コース（JICA研修員受入事業）に本講座参加学生がオブザーバー参加し、JICA技術研修員と共に各プログラムを通じ、専門的知識や技術を学ぶとともに、開発支援事業の実施運営現場を体験できるプログラム。

なお、本講座を受講するにあたっては、各プログラムに関する基本的事項を、以下のホームページを活用し、事前学習に取り組むことをおすすめします。

JICA課題取り組み：<https://www.jica.go.jp/project/subject/>

JICA事業別取り組み：<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/index.html>

## 7. プログラムの評価

当センターでは、各プログラム受講者の出欠の確認を取りますが、参加学生の成績評価は行いません。回収した受講レポートは大学（指導教官）、もしくはご本人へ返却いたします。本講座の受講に基づく単位の認定等は当方では行いません。別途、単位付与の有無については、各大学にご照会ください。

## 8. その他

- (1) 各プログラムには担当のスタッフがあり、参加期間中の必要なサポートを致しますので、必要に応じてご相談ください。
- (2) 受講に必要なテキスト・レジュメは原則、無料で配布します。但し、交通費、宿泊費、実習に必要な資材費などは個人負担となります。また、事前学習の指示のあるプログラムについては、その指示に必ず従ってください。
- (3) 受講者は参加プログラムの最終日もしくは終了5日以内に受講レポートを提出して頂きます。 来場途中及び受講中の負傷、事故等が発生した場合については、JICA筑波では責任を負いかねます。また、受講生の故意または過失によってJICA筑波又は第三者に損害を与えた場合、JICA筑波または第三者に対してその損害を賠償していただくことがありますので、各自で傷害保険及び損害賠償保険（学生教育研究災害傷害保険等）に加入することをお勧めします。 以下、2項目は、当センターでの対面方式実施の場合のみ。
- (4) 食事はJICA筑波内の食堂の利用ができます。
- (5) 関東圏外から参加を希望する学生等、宿泊を希望する場合は、原則、JICA技術研修員が宿泊する同施設を利用することが可能です（5,300円程度/泊）。但し、宿泊の可否については空室状況によるため、後日通知します。

## II. 応募方法 他

### 1. 応募方法

応募者は必要書類を熟読した上で、申込用webサイトに**6月14日（月）まで**に必要な情報を入力願います。webサイトでの登録が完了すると、お知らせメールがお手元に届きます。

申込用webサイト：<https://icnet.smartseminar.jp/public/seminar/view/232>

本講座申込や受講に関して監督する大学教官がいる場合は、必ず大学教官の名前、連絡先も、入力ください。大学教官による応募前の事前内容チェック等が必要な場合は、各自申込前に済ませていただけるようお願いいたします。（下書き用フォーマットが、別途ございます。）

### 2. 応募者の選考と結果通知

提出された書類に基づき、JICA筑波にて応募者の選考を行います。選考結果については、**6月25日（金）頃**に通知いたします。なお、選考結果の通知は、大学の窓口担当者と本人宛に、メールでお知らせいたします。

受講決定の連絡を受けた方は、**7月12日（月）**までに**誓約書（別紙③）**と**肖像権使用承諾書（別紙④）**を以下の送付先に郵送していただきます。なお、やむを得ない事情を除き受講決定後にキャンセルをしないようご留意願います。

### 3. 連絡方法

#### 【受講申込書送付先・問合せ】

JICA 筑波 開発教育支援事業運営事務局

大学生国際協力理解講座担当：森田、渡邊

〒330-6027

埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2 明治安田生命さいたま新都心ビル 27 階

アイ・シー・ネット(株)

TEL：048-600-2514

FAX：048-600-2501

E-Mail：jicatbic\_kaihatsu@icnet.co.jp